

※これは参考資料としての2022年度の科目表です。2023年度には変更される場合があります。

分野／開講部局	必要 単位数	科目名 (緑は第一部門、オレンジは社研 開講科目)	開講	曜日・時限
I. 社会・文化・地域 1. 世界と日本 2. 異文化接触 3. 日本語教育の歴史と現状 4. 日本語教員の資質・能力	4	比較文化学講義A(松原 真)(明治文学)	春夏	金 3
		比較文化学講義B(吉田慎吾)(『言語接触』を読む)	春夏	水 2
		日本語教育学講義B(太田 浩)(日本と世界の留学生政策)	春夏	木 4
		日本文化論A(中司 由起子)(能楽の歴史と作品)	秋冬	木 4
		難民・移民政策論(橋本 直子)	秋冬	木 2
		国際社会学特論(飯尾 真貴子)(境界化プロセス)	春夏	木 3
		グローバル化と教育(太田美幸)	春	月 3、木 3
		アジア社会史総論A(加藤 圭木)(日韓関係)	春	その他
		文化表象論(沢辺 満智子)	秋冬	金 3
		開発援助の諸問題／社会開発論A(上田 元)	春	他
II. 言語と社会 1. 言語と社会の関係 2. 言語使用と社会 3. 異文化コミュニケーションと社会	4	多言語社会論(三ツ井 崇)(近代朝鮮の言語と文化)	春夏	他
		社会言語論A(新任予定)(言語復興)	秋冬	水 2
		社会言語論B(イ ヨンスク)(越境する言語と文化)	秋冬	火 2
		日本語学講義C(柳田 直美)(談話分析入門)	春夏	水 2
		言語政策論(安田 敏朗)(『対抗する言語:日常生活に潜む言語の危うさを暴く』を読む)	春夏	木 6
		言語と社会B(松岡 昌和)(多言語社会、マレーシアの言語・政治・文化)	春夏	木 2
		文化交流の技法と実践(本田 修)	秋冬	水 2
		国際協力の実務と方法(松本 勝男／新任予定)	春夏	金 4
III. 言語と心理 1. 言語理解の過程 2. 言語習得・発達 3. 異文化理解と心理	4	日本語教育学講義F(阿部 仁)(異なる文化を受け止める)	秋冬	火 4
		日本語教育学講義K(大関 浩美)(第二言語習得と教室指導)	秋冬	水 4
		異文化理解の理論と実践(小田 隆史)	冬 3	集中講義
		多文化社会の人間形成(太田美幸)	春夏	火 3
IV. 言語と教育 1. 言語教育法・実技(実習) 2. 異文化間教育・コミュニケーション教育 3. 言語教育と情報	8*	日本語教育学講義A(西谷 まり)(日本語教授法)	秋冬	火 1
		日本語教育学講義C(阿部 仁)(参加型学習法)	春夏	火 4
		日本語教育学講義G(太田 陽子)(日本語教育学概論)	春夏	火 2
		日本語教育学講義J(太田 陽子・柳田 直美)(国内実習準備)	秋冬	火 3
		日本語教育実習A(柳田 直美)(国内実習)	春夏	月 3
		日本語教育実習B(太田 陽子)(国内実習)	春夏	金 3
		日本語教育実習C(西谷 まり)(海外実習・ベトナム)	秋冬	木 2
		日本語教育実習D(庵 功雄)(海外実習・台湾)	秋冬	火 5
V. 言語一般 1. 言語の構造一般 2. 日本語の構造 3. コミュニケーション能力	6	日本語学講義A(福永由佳)(日本語学習者と日本語学習を問い直す)	秋冬	金 4
		日本語学講義B(庵 功雄)(日本語学入門)	春夏	水 1
		日本語学講義D(庵 功雄)(コーパス言語学入門)	秋冬	木 1
		日本語学講義E(庵 功雄)(日本語教育文法研究)	春夏	木 1
		日本語教育学講義H(庵 功雄・柳田 直美・太田 陽子)(やさしい日本語の諸相)	秋冬	火 6
		社会言語学入門(荒井 幸康)	春夏	金 2
		一般言語学入門(吉田 夏也)	春夏	火 2

計 26

※分野IV「言語と教育」については、8単位のうち実習科目2単位以上4単位以内を必ず含むこと

※開講曜日や時限は変更されている場合がある。必ず、シラバスで確認すること。